

（令和元年 10 月試験研究業務月報）

試験研究課題：農地土壌炭素貯留等基礎調査（有機物連用試験）

研 究

## **農地に炭素を貯留し地球温暖化防止**

地球温暖化緩和対策として、農地を二酸化炭素の吸収源に活用するため、農地の炭素貯留量を評価することが求められています。

そこで、府内の水田、畑地、樹園地、草地などの土壌を定期的に採取し、農地に貯留される炭素量を調べています。今年度は山城地域を対象として、普及センターの協力により水田、茶園などの土壌調査及び農地管理のアンケート調査をしています。併せて、農林センター内の水田で有機物施用の有無など、農地管理の違いによる炭素貯留量の変化も継続（４４年目）して調査しています。

今後、農林水産省が全国の結果を取りまとめ、気候変動に関する国際連合枠組条約に基づき、国連に報告することになっています。



採土器による深さ 30cm までの土壌採取（山城町）と土壌炭素量の分析

農 林 セ ン タ ー